

No. 5

提案するアイデア3「将来平成レトロと呼ばれる商店街づくり」

趣旨

江戸の風情や昭和レトロと呼ばれる宿場や商店街が人気でそこを訪れる人は多い。一世を風靡した人々の営みや息遣いが見て取れるからだが、未来に向けて今生きる人がそれに匹敵するものを創出しているかといえば、否と言わざるを得ない。そこで商店街を基軸に平成スタイルを構築し将来平成レトロとも呼ばれるまちづくりに取り組んでみてはどうだろう。内容は出来ることから、ということで、1県1モデルとして息を合わせてまずやってみることが必要に思う。

内容

モデルとしての取り組み内容は次の通りである。

- ア 看板建築のように通りに面した側の建物の材質や色に統一感がある通り
- イ 電信柱や電線の見えない通り
- ウ 色彩や色、形、文字感など看板に統一感のある通り
- エ 歩車道が整然と区別され、例えば実のなる並木がある通り

内容にかかる各項目説明

- ア コンクリートにしる木材にしる材質感を近づけるとともに、色調を例えば焦げ茶色にするならそれにするなどして統一感を持たせる。
- イ 電柱、電線のない通りにはいたずらな煩雑感がなく空が抜けて見え人の心を開放する。
- ウ 公共施設や学校、警察署など公共の看板の基調色はブルー、商業看板は黄色、医療福祉に関わる看板は緑などとしておけばひと目で分かり易いし統一感が出る。
- エ 無いところや杭だけでは危険なゆえ、通りが狭ければ一方通行にするなど思い切った手を打つなどして実現が図られてよい。並木の樹種は投票によって決めるとよい。

メリット

平成を生きた人の心意気が未来に伝えられる。